

研究課題「高山市における慢性腎臓病進展予防のための健診システムと保健指導に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2008年(平成20年)4月1日から2018年(平成30年)12月31日までの間に久美愛厚生病院で高山市国民健康保険特定健診を受診された方

2. 研究目的・方法

<目的・意義>

日本の慢性腎臓病患者数は約1330万人と推計され、成人の8人に1人が慢性腎臓病患者に該当します。早期の慢性腎臓病は自覚症状も乏しく、腎不全（腎臓の機能が低下し機能が正常時の30%以下程度に落ちた状態）に至らぬよう、早期発見・早期治療することが重要です。慢性腎臓病の成因には生活習慣病と高齢化が関与しています。

高山市では、『高山市における慢性腎臓病対策』として、高山市国民健康保険特定健診受診者を対象に、慢性腎臓病予防のための健康的な生活習慣を獲得することを目的として保健師による積極的な取り組みが行われています。久美愛厚生病院では、1年間にあたり約9000名の方が、高山市国民健康保険特定健診を受診されています。そこで、このデータを利用して、どのような検査項目や生活習慣が慢性腎臓病の発症に関係するか検討することがこの研究の目的です。

<方法>

2008年(平成20年)4月1日から2018年(平成30年)12月31日までの間に久美愛厚生病院で高山市国民健康保険特定健診を受診された方の特定健診の情報を使用します。具体的には特定健診の結果と問診票の項目を参照させていただきます。研究のために検査を追加するなど、負担が増えるようなことは行いません。集められた情報を解析し、慢性腎臓病の発症に関係するかどうか、検討させていただきます。

<研究期間>

実施承認日～ 2022年 1月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- a) 質問票の項目：病歴（現在の内服を含む）、自覚症状、家族歴、生活習慣（喫煙、飲酒、睡眠、運動、過去の体重、労働内容）
- b) 健診結果（検査日を含む）：年齢、身長、体重、体格指数（BMI）、腹囲、血圧、尿糖、尿蛋白、尿潜血、総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール

テロール、AST、ALT、 γ GTP、尿酸、クレアチニン、eGFR（クレアチニン、年齢、性別より算出する）、ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球数、空腹時血糖、HbA1c、心電図、眼底

4. 外部への試料・情報の提供

高山市で個人情報を匿名化したデータシートを名古屋大学へ送付し解析を行います。名古屋大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、高山市の個人情報管理者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学	丸山 彰一
岐阜県厚生農業協同組合連合会久美愛厚生病院	堀 明洋
高山市役所市民保健部	川尻 宏昭

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者さんもしくは対象者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高山市市民保健部健康推進課	和仁 知枝子
高山市花岡町2丁目18番地	
電話 0577-35-3160	
FAX 0577-35-3173	

研究責任者：

岐阜県厚生農業協同組合連合会久美愛厚生病院	堀 明洋
名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学	丸山 彰一

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学	丸山 彰一
----------------------------	-------